# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

57-034967

(43)Date of publication of application: 25.02.1982

(51)Int.Cl.

B41J 3/04 B41J 27/00

(21)Application number : 55-110403

(71)Applicant: CANON INC

(22)Date of filing:

13.08.1980

(72)Inventor: TAZAKI SHIGEMITSU

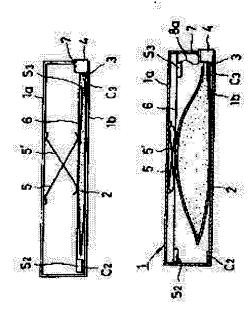
KYOGOKU HIROSHI TERASAWA HIROHARU OKAMURA SHIGERU

### (54) DETECTOR FOR RESIDUAL AMOUNT OF INK

# (57)Abstract:

PURPOSE: To detect the residual amount of an ink accurately by a method wherein a flat plate having an electrical contact is pressed against an ink bag so that the electrical contact is contacted to another electrical contact fixed to an ink storing vessel when the residual amount of ink is reduced to or below a predetermined amount.

CONSTITUTION: When the ink in an ink storing bag 2 is consumed and the residual amount of the ink is decreased with the progress of printing in an ink jet printer, the bag 2 is gradually contracted by the negative pressure inside the bag 2 and spring forces of leaf springs 5, 5', so that the flat plate 6 held between the bag 2 and the springs 5, 5' is lowered toward a lower case 1b. When the residual amount of ink is reduced to or below a predetermined level, the contacts S1WS4 are contacted to the contacts C1WC4 respectively, and when all the four pairs of the contacts are contacted, an alarm is issued.



## **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

# (19) 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

# ⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-34967

⑤Int. Cl.<sup>3</sup> B 41 J 3/04 27/00 識別記号 102 庁内整理番号 7231-2C 7810-2C ④公開 昭和57年(1982)2月25日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全4 頁)

## 60インク残量検出装置

20特

願 昭55—110403

20出 願 昭55(1980)8月13日

⑫発 明 者 田崎重充

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

⑫発 明 者 京極浩

東京都大田区下丸子3丁目30番 2号キヤノン株式会社内 70発 明 者 寺沢弘治

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

仰発 明 者 岡村繁

東京都大田区下丸子3丁目30番 2号キヤノン株式会社内

⑪出 願 入 キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番

2号

個代 理 人 弁理士 加藤卓

明 細 書

発明の名称

インク残量検出装置

#### 2. 特許請求の範囲

- 1)インクシエツトブリンターに供給されるインクを貯蔵するためのインク貯蔵容器内のインク 残量を検出するインク残量検出装置において、数なくとも一個の接点を備えた平板を介してインク 競響の一部に取り付けられたパネ部材を介してインク 残量が所定ともなうインク 残量が所定レベル以下に固定を移動させ、インク 残量が所定 レベル とき 高記を接触させること によりインク 残量 検出装置。
- 2) 前記平板に設けられる接点及びそれと接触するインク貯蔵容器の接点の数をそれぞれ4個としたことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のインク残量検出装置。

- 3) 前記4個の接点のうち4個の接点が接触したとき業告が発生されるようにしたことを特徴とする特許請求の範囲第2項記載のインク残量検出装置。
- 4) 前記4個の接点のうち3個の接点が接触したとき驚告が発生されるようにしたことを特徴とする特許請求の範囲第2項記載のインク残量検出装置。
- 5) 前記インク袋の封止部に穴を設け、この穴 を介して平板の接点とインク貯蔵容器の接点を接 触させるようにしたことを特徴とする特許請求の 範囲第1項~第4項までのいずれか一項に記載の インク残量検出装置。
- 3. 発明の詳細な説明

本発明はインク残量検出装置、特にインクジエットプリンターに用いられるインク貯蔵容器内のインク残量を検出するインク残量検出装置に関する。

従来インクリポン又はインクローラー方式のプ リンターでは使用度合により印字中に印字文字が 次第に薄くなつていくことによりインク交換の時期が判つたが、インクシェットプリンターではインク貯蔵容器内のインク残量が所定値以下になると突然不吐出になつたり印字乱れ等の障害を起すことがあり、良好な印字が保証されなかつた。

このような欠点を解消するために従来のインク 残量検出装置では、インク液面の変化に従来のインタ 量する磁石内蔵の浮きをリードスイッチで検力を たり、あるいは送光、受光手段を設けてインの光が 面が所定値以下になったとき送光手段に 遮断されることなどを検出する機構、シークに を利用して、インクとような状態のインクーに をかられている。インクシェットプリンターに のので、 をれるインク 鉄電車の減少に用いる のので、 できなかった。

従つて本発明はこのような点に、鑑みてなされた もので、簡単な構成でしかも正確で信頼性のある

内蔵される。このインク貯蔵袋2にはチューブ3を介して容器1に固定されたゴム栓4が接続され、ブリンター側に設けられた指し込み針(図示せず)に抜き刺しされてインクジェットブリンターと連結され、インク貯蔵袋のインクがブリンター側に供給される構造になつている。

また上ケース1aには板パネ 5 、5′ が容器1の側辺にほぶ平行に取り付けられており、その板パネ 5 、5′ の下側に接点 S1~S4 を各4隅に配置した平板 6 が配置され、この平板は板パネ 5 、5′ の下側に接点 S1~S4 を各4隅に配置した平板 6 が配置され、この映蔵 2 上に押しつけられるようになり、インク残量の減少によりけられるようになく下降することができる。一方で置くこ~C4 が取り付けられ、インク減少にともない平板 6 が下降すると接点 S1~S4、C1~C4がそれぞれ接触するように配置される。

接点 S 1~S 4 は共通線としてコネクタ 7 ヘリー F 線 8 a を介して接続され、一方接点 C 1~C 4 は インク残量検出が行えるインク残量検出装置を提供することを目的とする。

本発明によれば、少なくとも1個の接点を備えた平板をインク貯蔵容器の一部に取り付けられたパネ部材を介してインク袋上に押圧させる構造が用いられる。インク袋は偏平でしかもプラスチツクアルミ等からできる柔軟な構造なのでインク残 最減少にともないインク袋が変形すると、平板がパネ圧力によつて移動し、インク残量が所定レベル以下になると平板の接点がインク貯蔵容器に取り付けられた接点と接触し、無告が発生するように構成される。

次に添付図面を参照して本発明の実施例を詳細 に説明する。

第1図、第2図にはインクシエツトプリンターに用いられるインク貯蔵容器(カセツト)1が図示されており、このインク貯蔵容器1の上ケース1 aと下ケース1 bによつて形成される空間にはインクを貯蔵する偏平でプラスチツク(アルミ材等でも良い)からできた柔軟なインク貯蔵袋2が

リード線 8 b ~ 8 e を介してコネクタ 7 に接続される。コネクタ 7 のインクジエツトブリンター側には第 3 図に図示したようにアンドケート AG が設けられ、このアンドケート接点 S 1~S 4, C 1~C 4 の接触状態がリード線 9 a ~ 9 d を介して入力される。このアンドゲートは CPU(中央処理装置)に接続され、CPUの出力はコレクタに発光ダイオード LED を接続したトランジスタ Tr のベースに接続される。

このように構成されたインク残量検出装置において、インクシェットプリンターにおける印字にともないインク貯蔵袋 2 内のインクが消費され、インク残量が減少していくとインク袋内の負圧と板パネ5,5′のパネ圧力によりインク貯蔵袋 2 が次第に萎んでいき、インク貯蔵袋 2 と板パネ5,5′間にはさまれた平板 6 はそれにともない下ケース1 b の方に下降していく。インク残量が少ながなり所定レベル以下になると、第4図に図示した接点 S1~S4, C1~C4がそれぞれ接触し、アンドゲート AGにはリード線 9 a~9 b を経て「1」の信

号が入力され、それによつて CPU を経てトランシスタ Tr が導通して、発光ダイオード LED が点灯し、マインク残量が殆んど無くなつたことを禁告する。

また第 5 図に図示したように信号線 9 a ~ 9 d のうちそれぞれ三つをアンドゲート AG1 ~ AG4 の 入力に接続し、そのアンドゲートの出力をオアゲートのG を経て CPU に入力させることにより 4 接点のうち 3 接点が接触した場合に無告を発生するようにすることができる。たとえば接点 S1~S3, C1~C3 の 3 接点が接触するとアンドゲート AG1 がオンとなり発光ダイオード LED が点灯し無告が行われる。

ので、簡単な構成によりしかも安価な手段で正確な信頼性のあるインク残量を検出することができるという効果が得られる。

#### 4. 図面の簡単な説明

各図はいずれも本発明のインク残量検出装置の実施例を示すもので、第1図はインク貯蔵容器の側断面図、第2図はその平面図、第3図は検出信号を処理する回路図、第4図はインク残量が少なくなつたときのインク貯蔵容器の側断面図、第5図は検出信号を処理する回路の他の実施例を示した回路図、第6図はインク貯蔵袋の他の実施例を示した平面図である。

1 …インク貯蔵容器

1a …上ケース

16…下ケース

2…インク貯蔵袋

3…チューブ

4…ゴム栓

5,5'…板パネ

6 …平板

7…コネクタ

10 …インク貯蔵袋

10a~10d ···穴

第6図には本発明の他の実施例が図示されており、この実施例ではインク貯蔵袋の密着ないし封止部分の4隅に接点接触のための穴10a~10dを設けたインク貯蔵袋10を使用したもので、穴10a~10dから接点C1~C4を臨ませ平板6の接点S1~S4と接触できるようにし、下ケース1bにインク貯蔵袋10を固定したものである。この実施例の場合にはインク袋をケース側辺まで延ばすことができるので、インク袋の形状が大きくなり、インク貯蔵量を増すことができる効果が得られる。

なお、以上の実施例において、板バネ6のバネ 圧力は非常に弱く、この圧力によつてインク吐出 への影響はないような板バネが用いられる。

以上述べたように本発明によるインク残量検出 装置では、接点を備えた平板をバネ部材によりインク袋上に押圧させ、インク残量の減少にともないインク袋の変形に従つて移動させ、インク残量が所定レベル以下になつたとき平板の接点と容器側の接点を接触させてインク残量を検出している

